

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市がんばる地域応援補助事業審査会		
開催日時	平成29年11月29日(水) 午前10時から午前11時50分まで		
開催場所	みよし市役所 3階 301会議室		
出席者	<p>委員 加藤 武志(中京大学現代社会学部講師 まち楽房有限会社) 山田 隆夫(区長会代表 三好丘緑区長) 三島知斗世(NPO法人ボランタリーネイバーズ) 佐宗 正行(みよし市ボランティア連絡協議会) 増岡総一郎(政策推進部長) 柴田 修(市民協働部長)</p> <p>事務局 加藤市民協働部次長、村田協働推進専門監兼課長、 水野協働推進課副主幹、藤田協働推進課主任主査、 長尾協働推進課主事</p> <p>傍聴者 1名</p> <p>(計11名)</p>		
次回開催予定日	—		
問合せ先	<p>協働推進課 担当者名 長尾</p> <p>電話 0561-32-8025</p> <p>ファクシミリ 0561-76-5702</p> <p>メール kyodo@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	—
審議経過	<p><内容></p> <p>1 あいさつ</p> <p>2 団体プレゼンテーション</p> <p>3 審査</p> <p>4 事業採択について</p> <p>5 平成29年度みよし市がんばる地域応援補助金ふりかえりシート(平成28年度審査分)の中間報告について</p>		

<p>会議録 開会</p>	<p>村田専門監</p>	<p>本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今から「平成29年度みよし市がんばる地域応援補助事業審査会」を始めます。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議は、「みよし市がんばる地域応援補助事業審査会運営要綱」に基づき開催させていただきます。</p> <p>また、「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」第6条に基づき、会議のプレゼンテーション部分を公開、協議・採択の部分を非公開としておりますので、予めご了承ください。</p> <p>本日の傍聴人数は、1名です。よろしくお願いいたします。</p> <p>ここで、加藤会長より、一言ごあいさつをいただきたいと思います。</p>
<p>あいさつ</p>	<p>加藤会長</p>	<p>おはようございます。審査会としては今年で2年目ということで、本日は2団体ですが、地域とテーマとを重ねて補助をすることはユニークなケースであり、10分の10、さらに前払いありというのは、団体にとっても活動しやすいのではと思います。本日も地域とテーマの掛け合わさった事業内容が聞けるのを楽しみにして来ました。2団体ということで、有意義な会議になるかと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>議題</p>	<p>村田専門監</p> <p>水野副主幹</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第に従い進めてまいります。本日の選考方法とスケジュールを事務局から説明させていただきます。</p> <p>それでは、本日の選考方法とスケジュールについて説明させていただきます。この後、10時10分からお手元に配布させていただきましたタイムスケジュールに沿いまして、各団体にプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーションの時間は、1団体10分となっております。</p> <p>また、委員の皆様よりいただいた質問事項の回答等を織り込みながら、各団体には事業内容を簡潔に説明していただきたいと思います。事前説明しております。</p> <p>プレゼン終了後、委員の皆様から改めて団体に対してご質問等していただく時間を10分とっております。団体退場後、審査項目に沿って、委員の皆様には採点をお願いします。</p> <p>審査についてですが、お手元にあります審査項目委員評価表、こちらに記載をしております、地域課題の妥当性から公益性、主体性、実効性、将来性、実現性、地域性までの7項目ごとに、非常に優れている5点から劣るという1点までの点数をつけて順位を決定したいと考えております。同点の場合は、公益性、将来性、実現性の3項目が重要と考えておりますので、こちらの合計点の高い団体を上位といたします。</p> <p>評価の中で著しく低い1点がありましたら、全ての団体プレゼン</p>

プレゼンテーション		<p>の後、休憩を挟みまして協議をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、プレゼンにつきましては、各団体入れ替わりを含め25分を予定しております。2団体の終了時間は、11時を予定しております。</p> <p>その後、10分の休憩を挟みまして、11時10分から協議をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、プレゼンテーションに移りたいと思います。</p> <p>なお、プレゼンテーションの進行は、事務局で行わせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>【櫛 (KUNUGI) プレゼンテーション】 2名</p> <p>藤田主任主査 ありがとうございます。事業内容に関しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p> <p>三島委員 2点質問させてください。 1点目は、コグニサイズの対象者なのですが、年齢とともに活動についていけなくなる、会場に来られなくなる人への対応はどうしていこうと考えていますか。 2点目は、3年間で指導者を養成していこうとしていますが、1年目、2年目、3年目とどのように進めていこうと考えていますか。具体的に教えてください。</p> <p>櫛 (KUNUGI) 1点目については、現在も認知症のため来られない方が1名いるのですが、近所の方やこちらからお声がけをして参加してもらっています。また、1回1時間半の活動をしているのですが、全ての時間に参加できなくても、最初の10分であるとか、見ているだけでもいいので、という形で外に出ようとお声がけしています。 今後の対応としましては、そういった方々が増えないためにコグニサイズを行っていききたいので、現時点では、増えた場合の対処については話し合っておりません。ただし、先に話したとおり、現在1名いらっしゃる認知症の方に対しては、皆で声をかけて外へお連れするという形で対処しています。 2点目については、総会に出席する、NPOの指導を受けるなどして、勉強していこうと考えていますので、今後、指導者の数も増えていくと考えています。</p> <p>三島委員 20名ぐらいいるとすると何名指導者になると考えていますか。</p> <p>櫛 (KUNUGI) 5名から8名ぐらいなってもらいたいと考えています。そうすれば、会員が増えた時も対応していけますし、回数も現在の月2回から週1回行える可能性が十分あると考えています。</p> <p>加藤会長 集会場を使って、現在コグニサイズ以外で定期的に何か地域の活動を行っていれば教えてください。また、先ほど人間関係づくりとおっしゃられていましたが、コグニサイズの活動をとおして、実際に関係が深くなり、助け合った事例があれば教えてください。</p>
-----------	--	---

櫟 (KUNUGI)	<p>コグニサイズ以外の活動としては、防災の炊き出し訓練の参加呼びかけや長寿会と同伴し、社会福祉協議会の方で体操教室をしている先生に来ていただき、体の各部分にあった体操の指導をしていただき、知識を深めています。</p> <p>人間関係に関してですが、並んで体操を行うことがほとんどなのですが、時々グループになり、ここ数ヶ月で楽しかったことを話合ってもらったり、ゲームを行ったりすることで、心がほぐれることがあると感じます。実際、今まであまり口を開けなかった方が、開くようになり、人間関係が出来てきたと感じることがあります。</p>
佐宗委員	<p>長続きさせるためには、会員を増やさなければいけないと思いますが、現在老人会などの参加率はどのくらいですか。</p> <p>また、活動の中に体操だけですと硬いイメージなのですが、頭の体操に良い麻雀や囲碁のような柔らかいイメージのものを将来的に利用することは考えていますか。</p>
櫟 (KUNUGI)	<p>現在、老人会や長寿会から何名いらっしゃるのか集計は取っていないのですが、20名前後いらっしゃる半数が長寿会の方だと思います。また、長寿会から依頼を受けて、月1回、長寿会の会合で1時間活動させていただいています。</p> <p>麻雀などを活用する件につきましては、事前質問の中で回答しているのですが、麻雀や将棋をしに来ていただいた後に、体操をしていただくきっかけ作りにはなと思うのですが、頭を使いながら体も使うことを本来の目的としているため、それだけを利用してということは考えておりません。</p>
増岡委員	<p>櫟 (KUNUGI) という名称にはどんな思いがあるのですか。</p>
櫟 (KUNUGI)	<p>募集をして考えたのですが、木へんに楽しいと書き、気楽に楽しく参加していただける様にとという意味を込めました。また、コグニ (KOGUNI) という文字を並べ替えて何か作れないかと考えた結果、少しスペルは違うのですが、櫟 (KUNUGI) という名称にいたしました。</p>
増岡委員	<p>長寿介護課のコグニサイズのリーダー養成講習を受講していただいた方が、自発的に地域の介護予防、健康推進等にご協力頂いているので、応援したいと思っています。また、長寿介護課や健康推進課に講師の養成部分のバックアップを依頼していますので、しっかりした取組みをお願いしたいと思っています。</p>
山田職務代理	<p>最終目的が高齢になっても元気に住み慣れた地域で暮らし続ける、そういう地域を作りたいとしています。コグニサイズの運動だけでは、他の行政区で行っているコグニサイズの運動と同様であり、他の地域では補助金はもらっていません。補助金をもらってやろうとしている部分の具体的な事業計画案が足りないと感じるのですが、本日の審査会までに、何か具体案を積み重ねた事例等があれば教えてください。</p>

採点 プレゼン テーション	櫛 (KUNUGI)	今の段階では具体案はないのですが、皆さんの意見を聞きながら、その都度考え、試行錯誤していこうと考えています。
	山田職務代理	では、そういった計画を具体化していく時の柱となるものが、せっかく櫛 (KUNUGI) の会則の中にあるので、具体化していけると良いと思います。よろしくお願いします。
	櫛 (KUNUGI)	ありがとうございます。考えてみます。
	藤田主任主査	時間となりましたが、他にご質問はよろしいでしょうか。それでは、質疑応答を終わらせていただきます。 櫛 (KUNUGI) さんは退場をお願いします。ありがとうございました。
		【櫛 (KUNUGI) 退場】
		【委員採点】
		【打越行政区 プレゼンテーション】 1名
	藤田主任主査	ありがとうございました。ただ今のプレゼンに対しまして、ご質問等ございましたら、お願いいたします。
	加藤会長	何故ピアノでなければいけないのですか。
	打越行政区	例えば、エレクトーンを使用すると考えると、その伴奏者の人数は少なく、ピアノ伴奏者にとっては操作が違うため演奏できません。現在児童館にあるピアノも古いため、まず環境が整わないと事業を進めることは難しいと考えています。
	加藤会長	私の関わっている街では、市民が立ち上げた団体が歌声喫茶を行っています。皆さんキーボードを使っています。それは、会場がどこになったとしても持ち運びが出来るためで、いつも満席になるほどです。歌声喫茶で重要なのは、ピアノではなく、その事業内容だと思います。
	柴田委員	収支の中身を見させていただきまして、2年目以降は調律として いる反面、収入の部分に練習会場費とあるのですが、こちらは収支の方に入ってくるものではありませんか。
	打越行政区	今回の申請において、ピアノは区の財産として申請しており、たとえばそのピアノを使って練習や行事を行う際、まだ価格は決ま いてませんが、利用者から料金をいただくとすると、会場費につ いては区の収入になると考えられますので、収入に入れていま す。
	三島委員	現在コーラスの活動はあるようですが、男性に呼びかけて、歌 声喫茶の活動等を試験的に行ってみたという実例はありますか。

打越行政区	ピアノも会場もないので、まだ行った実例はありません。
三島委員	それでは、ピアノがないと活動を始められないと考えていますか。
打越行政区	ピアノ以外にキーボード等を使用して活動を始めることも一つの方法ですが、区としては、ホールにピアノを置くことが出来れば、敬老会等の行事で多くの人が利用できると考えています。
三島委員	つまり、ツールがないと活動が始まらないと考えているということでしょうか。
打越行政区	現状では、コーラス団体の活動をベースにして進めていかないと、何も始まらないと考えています。
佐宗委員	ピアノにこだわるとしたら、打越区の住民に寄付をお願いするのはいかがでしょうか。
打越行政区	区長やいろいろな方と話し合いをし、今回の申請が通らなければ、回覧板等を利用し寄付を募ろうと考えました。しかし、せっかくこのような機会があるのですから、今回申請させていただきました。
山田職務代理	打越行政区の行事の中で、今回提案している事業が出来そうだなと思わせる、大勢で歌った等の実績はありますか。
打越行政区	毎年11月に、打越行政区の文化祭をサンアートで2日間行っています。そこで、カラオケ、バンド演奏等を行っており、今後も続けていくつもりですので、そういった場を利用して、今回提案している事業を始めたいと考えています。
藤田主任主査	時間となりましたが、その他よろしいでしょうか。
加藤会長	初年度からイベントをやらないというのは、環境が整っていないからということですか。
打越行政区	住民の方への周知として、たとえば、来年度の文化祭において、試験的に2、3曲をみんなで歌う場を設けようと考えています。
加藤会長	先ほどのプレゼンで、歌声喫茶等の事業を開催する事は難しいことではないとおっしゃっていましたが、1年間は準備をしてピアノを買って、事業を進めていくということですか。
打越行政区	まだ計画の段階で、補助金がいただけるかどうかは決定していません。また、皆さんへの周知も短期間では行えないと思いますので、1年間は準備が必要だと考えています。
藤田主任主査	それでは、質疑応答を終わります。打越行政区さんは退場をお願いします。

採点 集計 採決		【打越行政区 退場】
		【委員採点】
		【採点集計】
	加藤会長	それでは、各委員の採点結果からの総合判定を事務局から説明をお願いします。
	藤田主任主査	各委員に採点していただきまして、1位が櫛 (KUNUGI)、2位が打越行政区となりました。 なお、審査項目において打越行政区に1点が付けられておりますので、決定前に協議をお願いいたします。
	加藤会長	1位の櫛 (KUNUGI) については、1点はないと思いますが、決定にあたり意見がありましたらお願いします。
	各委員	平池行政区民の約半数が65歳以上であるため、その人たちに対するより具体的な事業計画を立てること。
報告 閉会	加藤会長	次に、打越行政区については1点がついておりますので、協議していきたいと思います。
	各委員	歌声で打越を元気にという事業に関し、その事業に具体性がなく、方法論が不明確である。
	加藤会長	以上の結果を踏まえ、櫛 (KUNUGI) は採択、打越行政区は不採択とし、審査会を終了いたします。 続きまして、平成28年度に審査しました4団体の平成29年度みよし市ががんばる地域応援補助金ふりかえりシートについて事務局より報告をお願いします。
		【ふりかえりシートの報告】
	村田専門監	本日は、誠にありがとうございました。 最後に、市民協働部次長よりひとこと、お礼申し上げます。
	加藤次長	大変お疲れ様でございました。今年度2団体と少なかったことは残念であります。昨年度採択いたしました4団体については、しっかりと事業展開していただいていることが分かり、心強く思います。今年度採択いたしました事業と共に、引き続き支援と指導をしていきたいと思っております。ありがとうございました。
	村田専門監	以上をもちまして、平成29年度みよし市ががんばる地域応援補助事業審査会を終了いたします。 ありがとうございました。 (散会)